

久しぶりの校外学習

越前和紙の里へ出かけました。あいにくの雨でしたが、久しぶりの校外学習でみんなウキウキが止まらない様子でした。



紙の文化博物館では、紙すきの歴史や和紙の原料などについての説明を聞きました。学芸員の方から知っているか尋ねられると、たくさんのおともたちが手を挙げ、社会科や国語科で学んだことを立派にアウトプットしていました。館内の壁が和紙であることにびっくり!

パピルス館では、紙すき体験をしました。初めてすくのでみんな戸惑いながらも、職員の方と一緒にトプンと木枠を原料の中に入れ、均等に広がるように揺らしました。次に、季節の飾り付けや色付けをしました。一人一人、うーんと悩んで、世界で一つだけの色紙を作りました。ご自宅に持って帰ってきたお子さんの色紙、すてきだと思いませんか。

卯立の工芸館では、紙すき職人さんに実際の紙すきの様子を見せていただきました。先ほど体験した色紙よりも大きな木枠から、すいた和紙をすっとはがすところに子どもたちは感心していました。

今回、参加できなかった子どもたちも、来年の校外学習はぜひ一緒に行きたいですね。